

<h1>業務部報</h1>	N12 2022年 4月28日
	国 労 水 戸 地 方 本 部
	発行責任者 塙 正人 編集責任者 業 務 部

「変革2027」の実現に向けた組織の再編

グループ経営ビジョン「変革2027」の実現に向けて取り組んできたところ。今後も激変する環境に柔軟に対応していく。

- ・社員一人ひとりが、お客さまに近い場所で創意を發揮し、自己の成長と新たな価値創造を続けていくこと
- ・成長戦略を強力に推進、収益力を強化し、変革のスピードアップを実現することを通じて、働きがいの向上や経営体質の強化を実現していく。そのため水戸支社の仕事と組織を以下のとおりにする提案がされた。

1 現業機関の再編

- (1) (営業) 統括センター関係 (駅・乗務員) 今後も (営業) 統括センターの設置等を推進していく。
- (2) 車両関係 勝田車両センターを首都圏本部の現業機関とする。
- (3) 設備関係

水戸保線設備技術センター、水戸土木設備技術センター、水戸建築設備技術センター、水戸機械設備技術センター、水戸電力設備技術センター及び水戸信号通信設備技術センターを新設。これに伴い、土浦保線技術センター、水戸保線技術センター、いわき保線技術センター、水戸土木技術センター、水戸建築技術センター、水戸電力技術センター及び水戸信号通信技術センターの体制を見直す。

- (4) 医療関係

水戸鉄道健診センターを水戸健康推進センターとし、J R 東日本健康推進センターの現業機関とする。

2 企画部門の再編

水戸支社における現在の各部課室を、監査室、地域共創部、鉄道事業部、企画総務部に再編すると共にユニット制を導入する。

3 業務の見直し

- (1) 現業機関において現在担当している業務の一部の見直しを行う。
- (2) 水戸支社の企画部門において現在担当している業務の一部を現業機関へ移管する。
- (3) 水戸支社の企画部門において現在担当している業務の一部を首都圏本部へ集約する。

4 箇所体制 (現行 改正 別表あり)

5 実施期日

- (1) 車両センターの再編は2023年6月とする。
- (2) 設備技術センターの設置は2023年6月とする。
- (3) 水戸鉄道健診センターの再編は2022年10月とする。
- (4) 企画部門の再編は2023年6月とする。
- (5) 業務の見直しについては2022年10月とする。

6 その他

- (1) 第3項第3号に関わらず水戸支社において担当している業務の一部を首都圏本部または東北本部等に集約する場合がある。
- (2) 実施に向けて教育訓練等の必要な準備を行っていく。

7 実施期日を前提としたスケジュール (スケジュール表あり)



国労は何でも相談に乗ります。気軽に声をかけて下さい。

国労水戸地本 NTT029-221-4008

全社提言家